

2018年
9月15日(土)
~17日(月・祝)
東京・浅草公会堂

語りずには死ねるか!

を合言葉に、戦場体験者が浅草公会堂に集います

と出会える茶話会

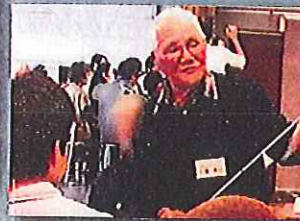
午前10:30~ 午後(1回目)13:00~、(2回目)14:30~

どんな方も大歓迎です。ぜひ一緒に語り合しましょう
会場内に体験者の方とお話することができるテーブル席をご用意します。
午前1回と午後2回(各1時間程度)、お話の場を予定しています。

- | | | | |
|--------|------------|--------------|------------|
| 中国戦線 | 満州、ソ連軍との戦闘 | 少年通信兵 | 日赤看護婦 |
| フィリピン | シベリア抑留 | 甲種飛行予科練習生、特攻 | 東京大空襲 |
| パラオ | 特別幹部候補生 | 船舶工兵 | 山の手空襲 |
| デリアン | 少年飛行兵 | 学徒出陣 | 満州、朝鮮半島引揚げ |
| ニューギニア | 筆操縦士 | カウラ収容所 | ほか |

どの時間帯にご来場されるかは、戦場体験史料館(<http://www.jvwap.jp>)にてお知らせします

昨年の茶話会の様子
老若入り混じって
自由な語らいが
弾みました



が遺す 証言とモノの展示会

10:00~18:00 (17時入場終了)

生の体験からあの戦争を知り、考える
日本全国で体験談を聞き集めています。
当時見たまま・聞いたままに語ってくださった証言ととも
に、大切に伝えて欲しい品物や写真を展示します。



浅草公会堂・1F 展示ホール

主催 戦場体験放映保存の会

TEL: 03-3916-2664 (火/木/土日祝)

e-mail: senyou@notnet.jp 戦場体験史料館HP <http://www.jvwap.jp>

入場
無料

戦場体験者

茶話会ってなに？



茶話会は、体験者と若い世代が膝を突合せて語り合う、戦争体験の語り継ぎの運動です。ご家庭や地域サークル、介護施設など、だれでも・どこでも気軽に開催できます。「うちでもやってみよう」「できるかな」という方は保存の会までお気軽にご相談ください。

参加された方からの声（2017年開催時のアンケートから）

「リアル」な戦争について知れて勉強になりました(10代男性)

弱った日本兵を追い返した話、戦地から帰国して相当数の荷物が盗難に遭った話、自分の中にもおそらくはそういう非人間的な部分が眠っている(30代男性)

戦争を体験された方は悔しさや悔めさをいっぱい抱えて生きてこられた。戦争になれば同じ思いをすることを忘れてはいけない(40代)

辛そうな表情が、戦争体験の悲惨さをより強く感じさせました。話して下さった内容は忘れません(20代女性)

戦場のパイロットは怖いもの知らずの方だと思っていたので「そりゃ怖かったです」と仰っていたのが印象的でした(70代男性)

捕虜を刺殺したという非常に重い体験も、おいしかった食べ物と同じ目線の話のように聞こえてしまうのが戦争の本質なのかと思いました。(20代男性)

自分の祖父に戦争の話聞かずにいたのが心残りだったので、こちらで“生の声”を伺えて大変良かったです(30代男性)

本やインターネットでは知ることができないことを聞けました(20代男性)

沖縄で戦死した祖父も、このような状況を目にしていたのかと想像することができました(40代)

百人聞いたら百通りのお話があると思いました。友人とまた来ます(50代女性)

戦前と、戦後の私たちでは全然違う。携帯電話も食糧とかも全然違う。話を聞いてジェネレーションギャップは縮まった。もし今戦争することになったら自分は死ぬだろう(40代男)

書物などで読むのでは伝わりきらない「気持ち」も含めて伺えるのはとても貴重だと改めて実感しました(40代男性)

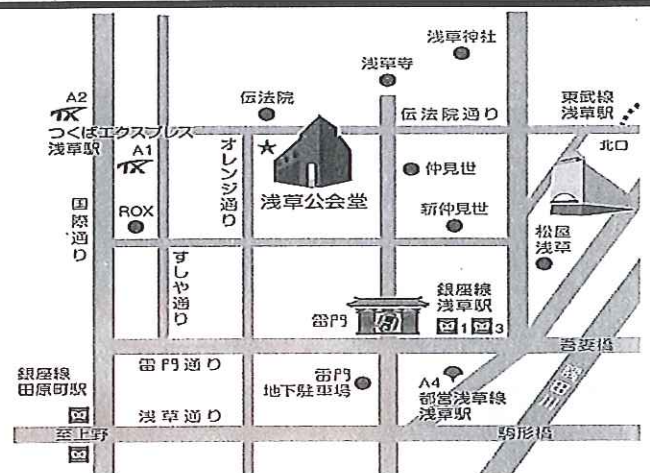
「戦場体験者が遺す証言とモノの展示会」の見どころ

戦時の写真、書類、日用品、衣類…
戦争の記憶を伝える手記、絵、作品…
あなたも展示しませんか？持ち込み歓迎です

- ◆ 証言パネル
日中戦争初期から敗戦後のシベリア抑留まで
沖縄戦や南洋移民の孤児の体験談
- ◆ 当時の貴重な写真
- ◆ 戦地の記憶を描いた絵
フィリピン、ビルマ、伊江島の集団自決など
- ◆ 戦地から持ち帰った品物
シベリア抑留を過ごした外套
2年間着たきりだった軍服と下着
砲弾の破片、飯盒、水筒、脚絆、鉄帽など

会場アクセス

台東区立浅草公会堂
東京都台東区浅草1-38-6



- 地下鉄 銀座線「浅草駅」 1番・3番出口 徒歩5分
- 都営浅草線「浅草駅」 A4出口 徒歩7分
- 私鉄 東武鉄道「浅草駅」 北口 徒歩5分
- つくばエクスプレス「浅草駅」 A1出口 徒歩3分

戦場体験放映保存の会について

● 戦場体験放映保存の会

2004年12月に設立。アジア太平洋戦争の戦場体験を主に動画で後世に遺す活動を行っています。元兵士・軍属の方々、沖縄や敗戦時の満州など、戦場となった地域におられた民間人の方々からの聞き取りを行っています。体験者自身が呼びかけの先頭に立ち、戦争を知らない世代のボランティアが収録活動にあたる老若一体の活動を展開中。体験記録は「戦場体験史料館 <http://www.jvvap.jp>」で順次公開しています。

● 無色・無償・無名

私たちは、「無色、無償、無名」を固い原則にしています。どんな立場の方も、どんなご意見の方も、ただ、戦場体験を語り継ぐ一点だけで手を繋ぎあいます。戦争の極地であった戦場がドラマや将軍の戦記物のみで伝わることを避け、名もなき我々の声を残しておきたいのです。

主催
公益社団法人マスコミ世論研究所内
戦場体験放映保存の会

〒114-0023 東京都北区滝野川6-82-2
TEL 03-3916-2664 (火木土日祝 10時~17時)
FAX 03-3916-2676
e-mail senjyou@notnet.jp
戦場体験史料館HP <http://www.jvvap.jp>